

きょうたなべ のうぎょう委員会だより

農業委員会
ホームページ→



No.93

令和5年3月1日発行
広報アイデア委員会

3
月号 2023



市民まつりで レモン加工品販売

11月5日・6日の2日間、「京田辺市民まつり」が開かれ、約5万人の来場者で賑わいました。

農業委員会は、6次産業化のモデルケースとして、レモン果汁を瓶詰めして販売。収穫したてのレモンと共に、完売御礼となりました。

2ページ目に掲載

今回のプレゼントクイズは、春の味覚「朝どりたけのこ」が当たります。

6ページ目に掲載

京田辺市民まつり

京田辺産レモンと日本酒でPR



当日は多くの方でブースが賑わいました。

農業委員会ブース

香村侃彦委員

11月6日、約5万人の来場者で賑わった「京田辺市民まつり」へ、農業委員会も参加しました。今回参加するために用意したのは、レモンプロジェクトで加工した京田辺産100%のレモン果汁（左商品写真）です。使い切りやすい150ミリリットルのビンに詰めて販売させていた



この日だけの限定150本を販売。

Rができました。また、当日は実際に販売したレモン果汁を使った「はちみつレモン」の無料試飲を行いました。みなさん、気軽に立ち寄っていただき、誠にありがとうございました。



無料試飲のはちみつレモンも好評でした。



京田辺産酒米100%のお酒に興味を示されました。



当日は、農業委員会も販売を協力。試飲も行いながら、地元農家が用意された約60本の日本酒は完売となりました。

同日、新田辺駅前エリアでは、山本農家クラブがつくった日本酒「佐牙」と「壽寶」を販売しました。このお酒は、近鉄三山木駅の東側にある山本区の農家があつまり、京田辺市の休耕田を活用し育てた京都の酒造好適米「祝」を使用して商品化したものです。

山本農家クラブブース

小泉辰夫委員

農業にふれてみませんか



いなさく たいけんしゃ ぼしゅう

令和5年

稲作体験者募集

体験内容

- 時期** 令和5年4月～11月
- 場所** 京田辺市水取区内の農地
- 対象者** 京田辺市民(中学生以上)
- 作業内容** 稲の作付け、田の管理、収穫
- 定員** 6組(人)(ご家族での参加も歓迎します)



体験参加者には、実際に育てたお米(一世帯30kg)を収穫後にお持ち帰りいただきます。くわしくは、右記メールアドレスへお気軽にお問い合わせください。

普賢寺地域では、毎年幼児や小学生などの農業体験を積極的に行っています。希望される市内在住の方を対象に、令和5年の稲作体験者を募集します。



みずとり 水取

お気軽にお問い合わせください

■メールアドレス

2525agri@csd-net.co.jp

(担当: 堀江)

メールアドレスが読み取れます→



堀江 幸和 委員

作業の一例 (主要な作業のみ体験いただけます)

5月

種もみまき

ビニールトンネルの組み立て



育苗箱へ種もみをまき、ビニールトンネルで成長させる。

6月

田植え

(手植え・機械植え)



田植え

7月～9月

田の管理(除草・病虫害の除去・穂肥の散布など)



収穫作業

10月

収穫・出荷作業(乾燥・脱穀・乾燥、籾すりなどの出荷作業)



水取ライスセンターで脱穀、乾燥、籾すりなどの出荷作業





具材を盛り付けて
オーブントースターで
焼くだけ。

まるでピッツアのよ
うな味わいのレシピ
です。



川端 美恵 委員

ざいりょう ふたり ぶん
材料(2人分)

- プチトマト** 2~3個
- とろけるチーズ** 100g
- ウインナー** 6本
- ブロッコリー** 150g
- ハーブソルト** 適量
- トマトソース** お好みの量

作り方

- 1 プチトマトを半分に切る。
- 2 ブロッコリー、ウインナーを食べやすい大きさに切る。
- 3 耐熱皿に①②を盛り付け、ハーブソルトをふる。
- 4 トマトソースをかけ、チーズをのせる。

- 5 オーブントースターで約7~10分焼く。
- 6 チーズがとけて焼き色がついたら、できあがり。

コツ

①②の具材や④のソースを変えて、様々な味をお楽しみください。

農 業 委 員 会 活 動 報 告

管外先進地視察研修
京都府京丹波町



喜多 義治 会長

【京丹波町農業委員会】

11月16日、京丹波町農業委員会へ視察研修に伺いました。今回の目的は、農業委員会の委員が書いている「活動記録」のまとめ方です。この記録方法が煩雑で、同じ活動をしていても、25人の委員の書き方によって、異なる表記になりがちです。

京丹波町農業委員会では、委員が簡潔に活動記録をとれるように、様々な工夫で効率化されてい

ました。例えば記録内容の統一した書き方を示し、記録をルーティン化するなど、本市が学ぶべき点が多く、非常に勉強になりました。



京丹波町役場で意見交換の場を設けていただきました。



各委員の活動記録がわかりやすく整頓されていました。

【京丹波町道の駅「味夢の里」】

次に向かったのは「味夢の里」です。6次産業化（栽培から加工・販売までを一貫して行うこと）の方法などを研修しました。支配人や開発・販売の代表者から、商品の陳列や販売方法の工夫、商品を生み出すための話し合いなどを、くわしく聞かせていただきました。地元産品を販売するためには「みんなで作業ができる」というお話が残りました。



施設内で地元食材を利用した商品を製造できます。

本市がこれまで取り組んできたレモンプロジェクトも、農作物の栽培に加え、加工・販売に繋げることで、農業収入を上げてもらうモデルケースを示すものです。今後、市内農家の方々に様々な提案ができるよう、先進地調査を続けたいと思います。



農業者・農業委員会の
意見交換会



澤田 康夫
会長職務代理者

12月7日、農業委員会の委員と市内農業業者で意見交換会を開きました。

意見交換のテーマは「守るべき農地」。各区の農業業者が、将来にわたり守るべきと感じている農地エリアを、農業委員会の委員が共有できるように、広げた地図を囲んで話し合いました。

意見を聞くなかで、守るべき農地のエリアが、過去と現在で変わりつつあることが認識できました。本市は今もなおまちづくりが盛んです。農地が都市開発され、一団の農地の間に道路ができた、大きな住宅開発などが



市全域から46名の農家が集い、農業委員会の委員と意見交換。

あったりして、農地の状況が変わること、守るべき農地のエリアも変化します。今回の意見交換会で、普段聞けない地元業者の想いや悩みを聞くことができ、大きな収穫であったと感じています。

農業者の高齢化や担い手の減少が深刻となるなか、今後京田辺市の農地の集積・集約を進めるためには、各区の農業者の意見が重要となります。

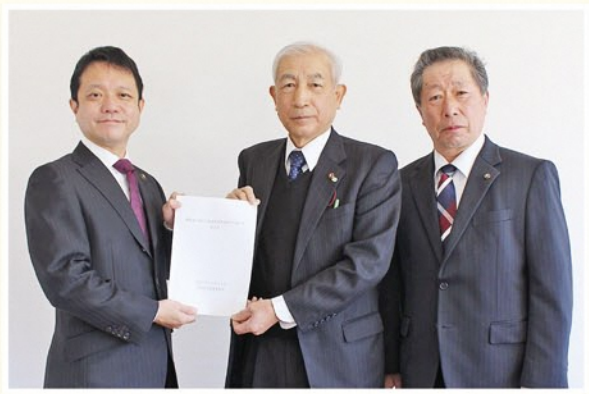
農業委員会では、今後も地区連絡会議(地区連)などを通じ、農業者と積極的に話し合える場を設けていきたいと思えます。



各区の農地エリア毎に、それぞれの考えを共有しました。



農業施策への
意見書を提出



農業委員会は、市に対して農業施策等の意見を提出することになっています。

12月19日、喜多会長・澤田会長職務代理者から、京田辺市長へ

市農業の振興や委員会活動への協力依頼などをまとめた意見書を提出しました。



農地の貸し借り状況報告

京田辺市にある貸借権のお知らせをします

96%は無償の契約です



昨年は、1,344筆ありました。その内、約96%が使用貸借(無償)の契約です。

※農地法第52条の規定に基づき、農地法および農業経営基盤強化促進法による貸借の情報提供

貸借料は、農業委員会などが定めるものではなく、貸し手と借り手が話し合い、合意して決めるものです。

農地の貸し借りのご相談は、各地区の農業委員会の委員または農業委員会事務局までお問い合わせください。





西八区



西八区
藤田 俊郎 委員



満開の桜と歴史ある舞の村

西八区は、京田辺市の北部「大住地域」に位置し、防賀川と新名神高速道路が交わる周辺に広がる集落です。区内には北部住民センター、大住小学校、大住中学校などの公共施設があります。

農地の大半は、ほ場整備（農地の形を整えて、道路や水路を整備すること）ができていて、ほぼ休耕地がない都市近郊型の農村です。作物は水稻や特産品の京都田辺ナスが中心で、一部ハウス栽培も行われています。

春になると、区を中心に流れる虚空蔵谷川の桜並木（写真①）が満開となります。川の両岸を桜が飾る絶景を楽しみに、多くの人々が訪れます。また、大住中学校の北側には月読神社があります。この神社は、参拝の入口より本殿が

下がっている、全国でも珍しいつくりです。秋には、千三百年の歴史がある市の無形民俗文化財「大住単人舞（写真②）」が執り行われます。地元の中学生たちが民族衣装を着て、境内の舞台で6種の舞を奉納します。

昨今は都市開発が進み、この数十年で風景が様変わりしました。大規模な工場の移転、京奈和自動車道・第二京阪道路・新名神道路の開通。そして今後、区の北側に広がる10ヘクタール以上の農地が、物流施設へと変わる予定です。

西八区でも、専業農家や担い手が年々少なくなっており、農業の継承が課題となっています。都市開発と農業が共存できる地区の発展を願うばかりです。



6種の舞のひとつ「肩伏の舞」



川の両岸に桃色の道が約700m続く

豊かな老後生活のために 加入しませんか 農業者年金

国民年金に上乗せする公的な年金制度です

1. 農業者なら広く加入できる
2. 積立方式・確定拠出型で安定した年金財政
3. 保険料の国庫補助
4. 保険料は2万円から自由に選択可能
5. 税制面で大きな優遇
6. 80歳までの保証がついた終身年金



くわしくは農業委員会事務局まで



編集後記 | 下村 茂樹 委員 |



昨今の農業は、後継者不足、遊休農地の増大など厳しい状況です。また、海外諸国の紛争などで肥料価格も値上がりしました。暗い話題が多いですが、せめて本誌は明るく楽しい紙面づくりに努めてまいります。

プレゼントクイズ

新鮮!とれたて朝どり

たけのこ 3kg

市内産

3名様

今号のクイズ

農業委員会が販売した限定レモン果汁は何本?
答え ○○○本 (ヒントは2ページ)

応募期限 令和5年3月26日(日)まで(当日消印有効)
当選通知時期 令和5年4月
郵送先 農業委員会事務局 〒610-0393(住所不要)
nougyo@city.kyotanabe.lg.jp
件名:「農業委員会クイズ」

記入内容 ■クイズの答え ■住所 ■氏名
■年齢 ■電話番号 ■ご意見・ご感想

メールアドレスが読み取れます。➡

